

<出題の意図>

第1問の課題文は女性の社会進出と飲酒に関するものである。受験者には、社会が抱える課題に関心を持ち、その解決に意欲をもってほしいと考え、この課題文を選んだ。問1、問2は、本学で学ぶのに必要な日本語運用能力を身につけているのかを問う問題である。問3は、それに加えて、根拠に基づいて筋道を立てて考え、文章としてまとめることができるかを問う問題である。

第2問の課題文は組織不正に関するものである。近年、組織内では正しいことを行っただと思っけていても、法令などに違反してしまう組織不正が問題となっている。問1は人間がなぜ不正に手を染めるかについてモデル化した、「不正のトライアングル」についての理解を問う。問2は自分の意見を論理的にまとめられるかどうかに加えて、国際学部における専門的な課題に積極的に取り組むことができるかどうかを問う問題である。

<解答又は解答例>

第1問

問1 (4点×5)

- ① 50 ② 減った ③ 転じる ④ 倍増している ⑤ 上回った

問2 (5点×3)

- (a) 自分に適した速度や方法で仕事等をする事
(b) 過去または物事の根本に立ち返ること
(c) 進行を妨げたり抑制したりすること

問3 (15点)

仕事や飲み会を男性と同様にこなす中でも、一般的に女性は男性に比べてアルコールの分解速度が遅く、身体に大きな負担がかかりやすいことを認識しておく必要がある。また、ストレスを飲酒以外の方法で解消することや定期的に健康診断を受けることも重要である。健康診断に関しては、制度の改善も求められる。

第2問

問1 (5点×3)

- ① 動機 ② 機会 ③ 正当化

問2 (35点) : 解答例省略

評価のポイントは、以下の①と②のとおりである。

- ① 組織不正はどのようなものを理解していること。
② 解決方法について、論理的に筋道を立てて表現できること。